

優秀論文賞 Breast-Q を用いた乳房再建貢献度の見える化  
講演

素輪 善弘、金山 益佳、藤川 桂、児玉 卓也、中務 克彦、沼尻 敏  
明、阪口 晃、田口 哲也

京都府立医科大学 形成外科

最近、巷に「仕事や貢献の見える化しませんか？」といった類のコマーシャルが増えてきたように思うが、これは時代が分かりやすい仕事量の可視化を求めるようになったということであろうか。我々再建外科医の仕事についてはこれを「見える化する」のは簡単ではなく、多面的な捉え方もあるので実に悩ましい。ここで原点に立ち戻り、われわれの仕事が誰の幸福を取り戻すため、そして誰の身体に対して医療を施しているのかを考えると、一つの見方が成り立つ。すなわち患者に声に耳を傾けることで、我々が意味のある仕事をしているか、あるいは自己満足なのかを知ることができるかもしれないということである。今回、患者の主観を客観的な値に変換できる素晴らしいツール「Breast-Q」を用いて、乳房再建の患者に対する貢献度の定量を試みてみた。結果次第では、自分自身の仕事を否定しかねない危うさを孕んだ研究であった。この研究結果を概説する。